

JIS

プラスチック上への装飾用電気めっき

JIS H 8630 : 2006

(SFJ/JSA)

平成 18 年 3 月 25 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 非鉄金属技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	神 尾 彰 彦	東京工業大学名誉教授
(委員)	岩 坂 光 富	日本鋳業協会
	碓 井 栄 喜	社団法人軽金属学会 (株式会社神戸製鋼所)
	木 股 隆 三	株式会社ビスキャス
	小 出 正 登	日本伸銅協会 (三菱マテリアル株式会社)
	近 藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	齋 藤 鐵 哉	独立行政法人物質・材料研究機構
	佐 藤 正 晴	株式会社神戸製鋼所
	下 村 孝	社団法人日本鉄道車輛工業会
	中 村 守	独立行政法人産業技術総合研究所
	西 村 尚	東京都立大学名誉教授
	馬 場 孝 三	住友金属鉱山株式会社
	林 央	社団法人日本アルミニウム協会 (独立行政法人理化学研究所)
	矢 萩 強 志	財団法人日本船舶技術研究協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 62.10.1 改正：平成 18.3.25

官 報 公 示：平成 18.3.27

原 案 作 成 者：社団法人表面技術協会

(〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-7-1 福田ビル TEL 03-3252-3286)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：非鉄金属技術専門委員会 (委員長 神尾 彰彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人表面技術協会 (SFJ)／財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS H 8630** : 1987 は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 4525** : 2003, Metallic coatings—Electroplated coatings of nickel plus chromium on plastics materials を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

JIS H 8630 には、次に示す附属書がある。

- 附属書 A (規定) 冷熱繰返し試験方法
- 附属書 B (参考) 使用環境番号及び使用環境条件
- 附属書 C (規定) めっきの展延性試験方法
- 附属書 D (参考) ニッケルめっきの硫黄含有率試験方法
- 附属書 E (規定) クロムめっきの微小孔及び微小割れの試験方法
- 附属書 F (規定) 耐食・冷熱繰返し複合試験方法
- 附属書 1 (規定) 密着力試験方法
- 附属書 2 (規定) 金及び金合金めっきの耐食性試験方法
- 附属書 3 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	2
4. めっきの種類, タイプ及びその記号	2
5. 等級, 構成及び最小厚さ	2
6. 品質	4
7. 素地	5
8. 試験	5
9. 検査	6
10. めっきの呼び方	7
11. 表示	8
12. 発注書又は加工仕様書への記載事項	8
附属書 A (規定) 冷熱繰返し試験方法	9
附属書 B (参考) 使用環境番号及び使用環境条件	10
附属書 C (規定) めっきの展延性試験方法	11
附属書 D (参考) ニッケルめっきの硫黄含有率試験方法	12
附属書 E (規定) クロムめっきの微小孔及び微小割れの試験方法	13
附属書 F (規定) 耐食・冷熱繰返し複合試験方法	14
附属書 1 (規定) 密着力試験方法	15
附属書 2 (規定) 金及び金合金めっきの耐食性試験方法	17
附属書 3 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	18
解 説	24

プラスチック上への装飾用電気めっき

Electroplated coatings on plastics materials for decorative purposes

序文 この規格は、2003年に第2版として発行された ISO 4525, Metallic coatings—Electroplated coatings of nickel plus chromium on plastics materials を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 3** に示す。

1. 適用範囲 この規格は、プラスチック上に装飾用の目的⁽¹⁾で行った電気めっき⁽²⁾（以下、めっきという。）のめっき有効面について規定する。

注⁽¹⁾ 装飾用の目的とは、主として自動車、家電、日用雑貨などに用いることを目的としたもので、外観、耐食性などが重要視されるめっきをいう。

注⁽²⁾ プラスチック上のニッケルめっき（プラスチックとニッケルめっきとの密着性を改善するため、銅又は柔軟性ニッケルの下地めっきを施しためっきを含む。）及びその上のクロム、金及び金合金、銀及び銀合金、すず—コバルト合金、すず—ニッケル合金、すず—銅—亜鉛合金、すず—ニッケル—銅合金のめっきをいう。

参考 柔軟性ニッケルとは、伸び特性に優れたニッケルめっきをいう。有機添加剤若しくは光沢剤を含まないワット浴、スルファミン酸塩浴又は市販されている専用の浴から電析することによって得られる。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 4525 : 2003, Metallic coatings—Electroplated coatings of nickel plus chromium on plastics materials (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS H 0400 電気めっき及び関連処理用語

備考 ISO 2080 : 1981, Electroplating and related processes—Vocabulary からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS H 0404 電気めっきの記号による表示方法

JIS H 8501 めっきの厚さ試験方法

備考 次の規格からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

ISO 1463 : 1982, Metallic and oxide coatings—Measurement of coating thickness—Microscopical